

編集後記

この「学術情報処理研究」は今回で第16号となります。この冊子に掲載される論文は第15号までは1名の査読によるものでしたが、本号より2名による査読体制となり、より権威ある学術誌へと歩みを進めることとなりました。編集サイドとしては従来とは異なる対応が必要となり、投稿者、編集委員、査読をお願いした方々にご迷惑をおかけした部分もあったかと思いますが、最終的にはこのように刊行にこぎつけることができました。関係の方々のご理解ご協力にまずは感謝申し上げます。

投稿論文を見ますとネットワーク・システム関係、情報処理教育関係、セキュリティ管理関係、センター運営関係、学内情報サービス関係、災害対策関係と多岐に亘っています。情報ネットワークの進化は指数関数的であり、その利用方法も広がると同時に脅威の程度も広がり、深刻さを増しています。また大きな災害時における情報ネットワークの重要性があらためて確認されてきています。投稿論文はちょうどこうした情報ネットワークを取り巻く状況を反映したものとなっていると感じます。

情報ネットワークを取り巻く状況、重要さはそのまま大学の情報系センター業務にあてはまるものです。この学術情報処理研究には他の学術誌には見られない、センター業務に深くかかわる事項について詳細な記述がされている論文が多々あり、情報系センター相互に有用な情報と思います。このように本誌が情報系センターの皆さまにはもちろん、ひろく情報ネットワークの発展につながることを期待します。

「学術情報処理研究」
編集委員会主査 松岡 守

「学術情報処理研究」編集委員会

委員長 松岡 守 (三重大学)
 本田 道夫 (香川大学)
 松澤 英之 (宮崎大学)

 廿日出 勇 (宮崎大学)
 杉浦 徳宏 (三重大学)
 林 敏浩 (香川大学)
